

独立行政法人奄美群島振興開発基金 中期目標評価の全体評価シート

中期計画の項目	評定	理由・指摘事項等
第1 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	A ⁺ ・(A)・B・C・D	2名の定員削減、審査委員会、外部の研修プログラム等を活用した職員の研修等業務運営体制の効率化を行っている。特に、一般管理費及び総人件費の削減については、目標を上回る実績をあげており、全体として中期目標を十分に達成している。
第2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	A ⁺ ・(A)・B・C・D	中期目標期間中の各年度において、標準処理期間内の事務処理の迅速化を図るとともに、保証条件、融資金利にリスク概念を導入、重要と位置づけられる産業向け資金への重点化等行うなど見直しが図られており、中期目標は十分に達成している。 但し、利用者ニーズを把握するためのアンケート調査の迅速な業務への反映、意見・質問受付をより多く得るなどにより、新たな保証・融資ニーズの発掘のための工夫の余地がある。
第3 予算、収支計画及び資金計画	A ⁺ ・A・B・(C)・D	リスク管理債権割合、求償権回収率、延滞債権の回収率ともに計画を大幅に達成できなかった。加えて、新規リスク管理債権の発生も増加しており、今次中期計画との関係では順調とは言えない。
第4 短期借入金の限度額	(O)・×	中期目標期間中の各年度において、限度額を遵守しているか、そもそも短期借入金の借入実績はないものとなっている。
第5 重要な財産の譲渡等の計画	-	-
第6 剰余金の使途	-	-
第7 施設及び設備に関する計画	-	-
第8 人事に関する計画	A ⁺ ・A・(B)・C・D	中期目標をおおむね達成している。今後とも効果的な人員配置や職員のインセンティブの確保方策等について検討が必要である。
第9 その他業務運営に関する重要事項	A ⁺ ・(A)・B・C・D	中期目標のとおり、平成17年度末にて出資業務を廃止しており、中期目標を十分に達成している。

全体評価

全体として中期目標をおおむね達成しており、特に、一般管理費及び総人件費の削減については計画を大幅に上回っている。また、債権管理体制の強化、評価・点検チームによる業務見直し等も適切に行われていることは高く評価できる。

さらに、独立行政法人整理合理化計画等を踏まえた一般保証の限度額の引き下げや融資メニューの見直しを行ったほか、リスクに応じた保証・貸付条件の見直し、標準処理期間内の事務処理の迅速化、中小企業信用情報データベースシステムの活用等に努めるとともに、利用者等の利便性向上のため、情報提供や利用者ニーズの把握も着実に実施されていることは高く評価できる。但し、利用者ニーズを把握するためのアンケート調査の迅速な業務への反映、意見・質問受付をより多く得るなどにより、新たな保証・融資ニーズの発掘のための工夫の余地がある。

一方、債権管理体制の見直し、金融機関との協調等による経営・再生支援の取り組み、期中管理の徹底等により、リスク管理債権は特殊法人時の最終年度より減少しているものの、リスク管理債権の割合、求償権の回収率・延滞債権の回収率ともに計画を大幅に達成できなかったことに加えて、新規リスク管理債権の発生も増加しているのは、今次中期計画との関係では順調とはいえない。

特に、新規リスク債権の発生が増加している点に関しては、事務処理の効率化等の他の項目の方向性と背反する可

能性もあり、次期中期計画の運用においては奄美群島振興開発基金の果たすべき役割、奄美群島内の事業者の実情等に十分留意しつつ、計画未達成事項の分析を踏まえた改善策を講じるとともに、引き続き、上記の取り組みを進め、財務の健全化に努める必要がある。

人事計画に関しては、おおむね順調に達成しているが、今後とも効果的な人員配置や職員のインセンティブの確保方策等について検討が必要である。

その他業務運営に関する事項として、廃止することとされていた出資業務については、平成 17 年度末を以て廃止されており、中期目標を達成していることは評価できる。